

特許・実用新案 登録なる！

満空試験方法及び満空試験治具

排水系統の漏れ試験としては「満水試験」が一般的です。満水試験ではその都度相当量の水を準備する必要がありますし、試験後には水を廃棄するなど、環境・省資源の面からも改善が求められていました。SHASE-S 206-2000に規定されている気圧試験を簡便に実施する「満空試験方法及び満空試験治具」が、このたび特許・実用新案として登録されました。

特許証・実用新案登録

- ・特許第3476187号
- ・登録第3099815号



現場写真



●満空試験治具の特長

空気を使用して試験を行うので水の段取り（給水、排水）が不要のため、手間がかからない。また建築仕上げ状況により1フロア毎だけでなく、2～3フロアまとめて試験できる。空気を使用しているので試験後に多量の水を捨てることなく、環境・省資源に配慮している。SHASE-S 206-2000による気圧試験では、試験圧力35[kPa]、保持時間15分であり、満水試験に比べて保持時間が短く作業効率が良い。（満水試験圧力30[kPa]、保持時間60分）